

## 4708 心模様：ビワイチ（琵琶湖一周）完走に思う

10月14日、快晴。午前7時、アトリエ久楽を、ママチャリにてスタート。

今年は、体力の現状をチェックのママチャリ散策を継続中。

特別なことをしているわけではない。毎日体を動かすことの大切さを痛感しているのが動機。

今では、相棒のカメラに助けられている。足腰だけでなく、眼にもプラス。

今では1日で、ビワイチ（琵琶湖一周）とはいかない。

滋賀県と京都の県境・途中から右折、琵琶湖大橋までは、下りの一直線、今日は快晴、花折峠、朽木、葛川方面のコースになった。ママチャリには厳しい。

出発時の思いとは違う。琵琶湖に行きたい。比良山系で道がない。



朽木から、安曇川沿いに琵琶湖まで、私の場合、取材が言い訳で、道草が多い。  
若い人の3～4倍、時間がかかる。一期一会、見過ごし通りすぎない。無駄であろうが、  
画像記録は、実践、足跡の証明。そして、出会いもいろいろ。

夏ではない。10月14日、湖岸での光景を楽しんでいるうちに、日も暮れ始める。  
万一を考えて洗面用具などは持参。リゾートホテルを紹介していただいたが、今は予算なし。

今津駅ならビジネスホテルがあるかもしれない。

駅前のグリルと喫茶「一番星」で情報入手。夕食。ビジネスホテル確保。

この日、ビジネスホテルに入り一風呂。爆睡。午前2時、目が覚めた。何もすることがない。

出発することにした。ここは日本。駅前のコンビニの明かりが煌々と。

琵琶湖の今津港、朝日が素晴らしい。湖北をまわり、25日中に帰宅するのは不安が残る。

そんな訳で、先を急いだ。快晴、どこで、どんな出会いの光景があるか、

犬も歩けば棒に当たる。動いた数だけ、出会いがある。

良いことも、そうでないことも、しかし、この二日間は、ラッキーだった。

いや・・・ 京都紫野には16日、今、お昼。

大過なく、ピワイチ（琵琶湖一周）が、だましまだまだが、出来た。

この後の、迎古夢旅は、次のために書いておいたもの。

これから昼食。クールダウンのため外出。馴染みのお店で、美味しいコーヒーを。

来週も、やりたいことがあって、HPは、不定期になるかも？

できる時に、できることを実践。今は、そんな心境。